インフルエンザ(2026 年第 42 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 42 週の定点当たり報告数は 9.08(患者報告数 33,864)となり、前週の定点当たり報告数 12.81 よりも減少した。都道府県別では沖縄県(19.68)、埼玉県(15.39)、北海道(12.32)、長崎県(12.28)、千葉県(12.20)、岩手県(12.07)、神奈川県(10.92)、石川県(10.85)、富山県(10.42)、熊本県(10.27)、新潟県(10.11)、兵庫県(10.05)の順となった。全国 47 都道府県中、5 都道府県では前週の報告数よりも増加し、42 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 983 例であり、前週(1,133 例)から減少した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(38 例)、1～4 歳(100 例)、5～9 歳(122 例)、10 代(68 例)、20 代(6 例)、30 代(12 例)、40 代(19 例)、50 代(42 例)、60 代(70 例)、70 代(167 例)、80 歳以上(339 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 38 週～2026 年第 42 週)では、AH1pdm09 が 142 件(97%)、AH3 亜型が 2 件(1%)、B 型が 2 例(1%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html)を参照されたい。